

三浦一敏

- 1, 養殖業環境変動緊急対策費、3187万3千円について伺います。
 - ① 昨年からの異常な海水温上昇の中、水産県みやぎの養殖業は大変な事態となっています。この予算は歓迎しますが遅すぎたくらいです、しかも、アコヤガイ真珠の研究や海水温環境データの機器整備費、そして、内水面養殖業を除くと海面養殖業者等が深吊りや冲出しで試験的に挑戦する補助金は2000万くらいにしか、なりませんね、深刻な現状を打開するためと言いますが予算が少ないではないか。
 - ② ある漁協青年部の方の話では「ホヤは壊滅的打撃で大変深刻だ」、今回の事業は手出しがあっても 2/3の補助率は大変有難いと言います。補助上限額2000万以内と言いますが何件くらい想定しているのか
 - ③ ホヤだけでなく、ホタテも壊滅的ですから仮に数団体申請あったとして 1 団体400万~500万程度にしかならない、ホヤ種・稚貝の購入や資材高騰、カキも不安定であり、予算の増額が必要ではないか
- 2, 次に自然災害避難支援アプリ導入費1100万と、地域ポイント等支援費3億円について伺います。
 - ① 1月に発生した能登半島地震を踏まえ、当初の市町村が主体から県が一括導入して広域避難を促進するための事業ということだが、能登半島地震では、通信回線の途絶や停電などにより、スマートフォンが使用できなくなった。実際に大災害直後に使えるのか？
 - ② マイナンバーカードを持って自然防災アプリを登録した県民は抽選で3000ポイント(3千円)が付与されるのですが、アプリ導入目標と当選者数はいくらか
 - ③ 予算が厳しいと言いながら3億円もの税金をポイントと称してバラまく

ことは大問題だ。税金の使い方として間違っていると思うがどうか？アプリの必要性をきちんと理解してもらって広げるべきではないか。

(苦境にあえぐ養殖業者にわずか3000万、一方バラマキに3億円という予算の使い方は大きな問題だと指摘しておきたい)

3, 宿泊税導入を進める税務管理システム改修費、1億832万3千円に関連して伺います。

(まだ、条例が可決されない内にシステム改修費を計上することは、どういうことか)

- ① 1億832万3千は今年度分と聞きました。改修作業は次年度にも及ぶとのことですが総額はいくらを見込んでいるのか？
- ② 知事は宿泊税の事業開始までの1年間かけて充分説明していきたいと再三答弁したが、これは間違っている、全く逆ではないか、条例提案前に説明尽くすべきでは
- ③ だからこそ特別徴収義務者となる宿泊事業者に丁寧に理解してもらうことが決定的なカギとなる。説明会を2度3度とやったが理解は深まるどころか、不満批判が広がっているではないか。私が傍聴した9月3日、石巻の説明会でも、17人の参加で、その場で参加者自身が賛否を取ると賛成者は1人だけでした。知事これが実態なのです、違いますか
- ④ 知事は「財源が厳しい」と言いますが、類似県比較で宮城県の財政指標がI番いいのです、東北では断トツです、違いますか。観光予算が更に10億必要なら1兆円規模の県予算から工面すればよいではないか、なぜ宿泊者に転嫁するのか
- ⑤ それから、無駄な事業はやめるか、縮小すべきではありませんか、JR貨物の岩切移転のための広域防災拠点施設に424億までつぎ込んでいる、知事は自主財源は15億程度と代表質問で答弁したが

正確には県の負担は一般財源は 41 億、起債228億円であります。
違いますか

(知事の思い込みはひどいと思う、自分の周りに反対の声が多数ではないと決め込む、これは4病院再編問題でも露呈し、今もって関係者を苦しめていることに痛みを感じない冷淡な姿勢であります。今度は宿泊事業者の多数の反対の声を無視してゴリ押しする、これは自ら墓穴を掘ることに等しいと厳しく指摘したい)

1 5 2 1 字